

セレノグラフィカ

Selenographica
(隅地 茉歩 + 阿比留 修一)

Selenography(月面地理学)+icaで(月究学派)の意。「身体と心に届くダンス」をモットーとして、関西を拠点に国内外、屋内外を問わず幅広く活動を展開するダンスカンパニー。緻密な身体操作から繰り出されるその不思議で愉快的なダンスは、多くの世代に受け入れられている。隅地茉歩は「踊るぬいぐるみ」、阿比留修一は「かかとの無い男」とあだ名され、公演やワークショップを含め、北海道から沖縄まで全国各地へ遠征の日々を送る。また、800を超える教育機関へのアウトリーチも行い、幼稚園や小学校では「まほさん、あびちゃん」として人気。

所属カンパニー セレノグラフィカ
ホームページ <http://www.selenographica.net>
連絡先(担当) 阿比留 修一(技術面は岩村原太)
E-mail info@selenographica.net



Photo:平野愛

活動歴・受賞歴

活動歴

【主な上演歴】

(1997年) カンパニー結成『無伴奏の月』上演(京都市)
(2006年) TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005受賞者
公演(東京都)
(2006~08年)『それをすると』/『樹下の双魚』欧州、豪州、
韓国ツアー(リヨン、パリ、ロンドン、パース、釜山)
(2015年)『ひびきあう〜音と身体で感じるみずかみかすよの
世界』(北九州市)
(2017年) 結成20周年記念作品『とこしえに』発表(上田市)
(2019年)『ダンス×音楽 実験的音楽空間〜 REFINE〜音も身体
も』(北九州市)
(2021年) 結成24周年記念作品『無言歌〜カラダとウタウ〜』発
表(北九州市)
(2024年) 公共ホール創造ネットワークモデル事業「音楽とダン

スが出会う夢の旅〜響きの先のあしたへ〜(和歌山県)

【継続中のプロジェクト】

(2014年〜)『レインボードロップスプロジェクト』(北九州市)
(2015年〜)『夜のこぼれプロジェクト』(京都市、伊丹市)
(2020年〜) セレノグラフィカ『語る』ダンスプロジェクト
身体のことば〜振付家の視点から(全国各地)

【ダン活、ダン活支援歴】

ダン活のべ12か所(奈良市、山県市、富田林市、坂井市、上川郡鷹
栖町、笛吹市、名寄市、西宮市、鶴岡市、徳島市)
ダン活支援のべ14か所(坂井市、上川郡鷹栖町、茅野市、山県市、
北広島市、春日井市、舞鶴市、東松山市、近江八幡市、清水市、西宮市)

受賞歴

(1996年) 阿比留修一平成8年度大阪府芸術劇場奨励新人に認定。
(2005年) 隅地茉歩TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005
「次代を担う振付家賞」(グランプリ)受賞。

ワークショップ歴

○大阪府障がい者オープンカレッジダンスコース講師(堺市/2006~11年)
○(一財)地域創造ステージラボ講師(宇都宮市/2012年、札幌市
/2015年、上田市/2016年、高知市/2017年、横浜市/2018年、大津市
/2018年、いわき市/2019年、大分市/2022年、川崎市/2023年)
○(一財)地域創造ステージラボコーディネーター(岡山市/2024年)
○パフォーマンスキッズ・トーキョー(東京都/2012年~継続中)
○キタQアーティストふれあいプログラム(北九州市/2012年~継続中)
○文化芸術による子供育成推進事業~コミュニケーション能力向上事
業(全国各地/2012年~継続中)
○こちかぜキッズダンス(京都市/2014年~継続中)
○しぶんみかきダンス(京都市/2016年~継続中)
○障害者による文化芸術活動推進事業(東京都、さいたま市/2019年
~2023年)
○少年院「東日本少年矯正医療・教育センター」WS(昭島市/2022年
~継続中)

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①幼稚園、保育所で

最初にセレノグラフィカのダンスを見てもらい、続
いて3種のダンス遊びを体験。最後には皆で仲良
く汗をかき、愉快地踊るプログラムです。

②小学校(特別支援学級を含む)、中学校で

こちらも始めにセレノグラフィカのダンスを見てもら
ってからスタート。ダンスに関心のある子も無い子も、ダン
スが得意な子も苦手な子も、一緒に身体を動かして、
その子ならではの楽しさを発見できるプログラムです。

③教員対象で

ダンスの授業やクラス運営にも応用の効く様々なボディ
ワークを実践し、質疑応答の時間も設けて、先生たちのダン
スに対する率直な声に応えていくプログラムです。

④福祉施設、高齢者施設で

まずは短くセレノグラフィカのダンスを披露し、その
後ゆっくり目に負担の少ないメニューを選んで進行
します。参加者のコンディションに繊細に対応し、踊
ることの楽しさに触れていただくプログラムです。

▶参加適性人数:20~40名程度(相談可)▶1日
の実施可能回数・時間:1コマ90分として1コマ
から(相談可)▶必要機材:Bluetoothスピーカー、
ワイヤレスマイク等

公募ワークショップ

①ほくしてみようワークショップ

少し丁寧にストレッチの時間を取り、参加者が自
分の身体の癖に気づいていく中で、身体感覚をじっ
くりと高めていけるワークショップです。

②踊ってみようワークショップ

まずは歩くという身近なことから始め、一人で、ペ
アで、あるいはグループでというようにダンスの
状態を変化させ、踊ることの様々な楽しさを実感
することのできるワークショップです。

③創ってみようワークショップ

クリエイションに重点をおいて創作のための手がかり
をいくつか提示し、それを頼りに、ダンスを創る
ことの喜びを味わうことのできるワークショップで
す。成果を互いに発表し、意見交換も行います。

▶対象:3歳以上、経験不問 ▶参加適性人数:
20名程度(相談可)▶1日の実施可能回数・時間:
1コマ120分として1コマから(相談可)▶必要機
材:Bluetoothスピーカー、ワイヤレスマイク等

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①『無言歌〜カラダとウタウ〜』

結成24周年に創作した記念作品。北九州芸術劇場
小劇場で初演し、その後上田と上演を続けているセ
レノグラフィカの最新レパートリー。

今を感じさせるいくつかの小道具と二面舞台。二人
の身体の動きがまるで複数の旋律のように響き合う、
セレノグラフィカの身体表現のひとつの完成形。

▶上演時間:80分

②『とこしえに』

結成20周年の節目に創作した記念作品。サント
ミュージゼ(長野県上田市交流文化芸術センター)で
初演し、その後神戸、長崎と上演を続けているセ
レノグラフィカのレパートリー。男と女の身体が一つづ
つという、制約があるようで実は無限の可能性を孕
んでいることそのものを踊る渾身のデュエット。

▶上演時間:70分

※上記すべて使用する会場、床の状態、使用機材、
スタッフ等については要相談。

市民参加作品

ご参加の方々の世代や男女比、志向性などに応じて
構成や演出を考え、その地域の特色ある身体性が豊
かに反映される創作を行っています。これに伴い、作
品タイトルもその都度オリジナルのものを付けていま
す。(例:「遠い放課後」「おやつくらいおいしいダン
スの話」「幸せについて、踊ってもいいよ」など)また、
市民参加公演の形態は基本的にホールとの話し合い
でベストの形を選択しています。参加(出演)人数・
回数、上演環境などは応相談。その他、現地の演奏
家や美術家などとのコラボレーションも可能です。